

第4回微生物検査研究班研修会

2026年1月31日（土）14：30-17：30（14：00受付）

○精度管理報告会『令和7年度千臨技精度管理報告 微生物・遺伝子』

試料1 血液培養の塗抹標本（グラム染色）

竹林 孝太郎 技師

成田赤十字病院

試料2 胆汁検体より分離された菌の同定検査

瀬川 俊介 技師

千葉大学医学部附属病院

試料3 尿および血液培養より分離された菌の同定・感受性検査

梶原 裕貴 技師

千葉市立青葉病院

試料4 フォトサーベイ（3症例・5問）

川名 孝幸 技師

順天堂大学医学部附属浦安病院

試料1 SARS-CoV-2 遺伝子検査

加地 大樹 技師

国保直営総合病院君津中央病院

○教育講演『千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク協議会

千葉県独自の感染症サーベイランスシステム- SeCIHI-とは』

『SeCIHIの概要』

相津 琢磨 氏

NTTコミュニケーションズ

『秘密計算で明らかになる地域と薬剤耐性菌の関係』

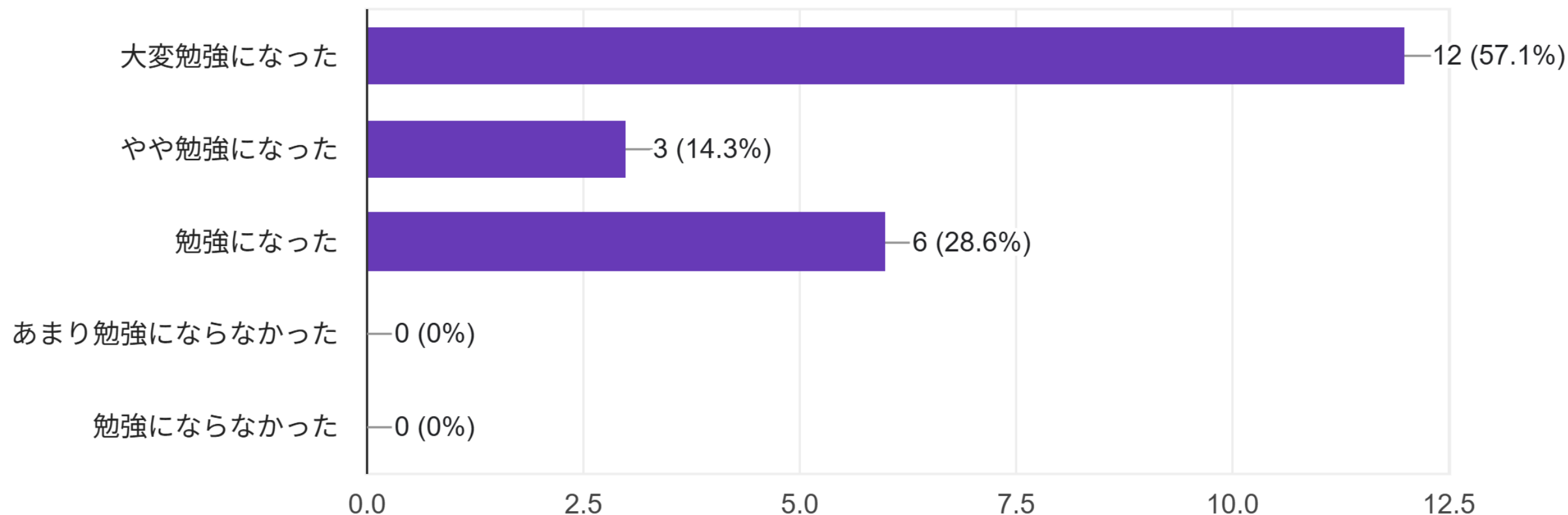
谷口 俊文 先生

千葉大学医学部附属病院

現地参加：35名、リモート参加：29名 計64名

②精度管理報告会『令和7年度千臨技精度管理報告 微生物・遺伝子』はどうでしたか【必須】

21 件の回答

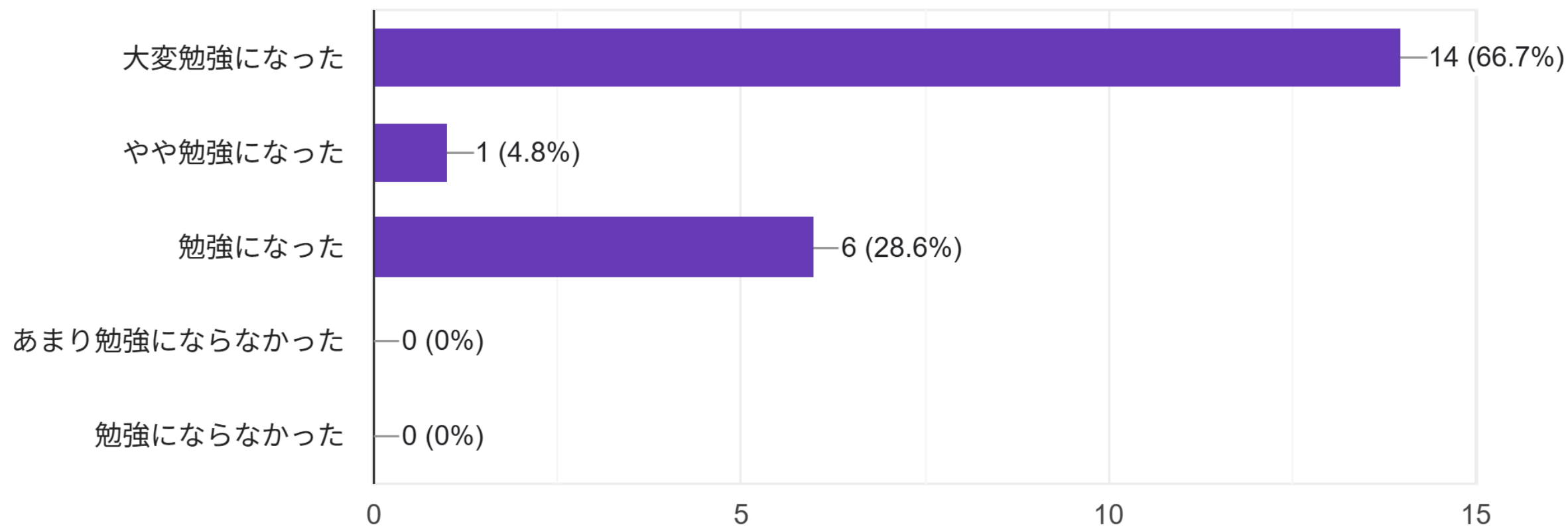


③ ②で回答した理由を詳しく教えてください

- 問題は基本的なものが多かったが、よく聞かれる分それだけ大切なものなので今回しっかり復習出来たので良かった。
- 出題の意図を確認できてよかったです。
- 各出題菌の基礎知識を改めて学ぶことができてよかったです。とてもわかりやすかったです。
- 回答したものを復習しつつ、NDMとESBLの薬剤耐性について改めて学習できたから
- これを間違えたら問題だろうという基本的なレベルだったと思う。
- 他施設の検査法や報告方法が役に立った
- 耐性菌の結果解釈など改めて勉強になりました。
- 問題の意図から考え方まで非常に詳細にご説明いただき、勉強になりました。
- 他施設でのサーベイ結果も知ることができて参考になった
- 始めて報告会を聞いたので為になった
- 改めて基礎が学べたため
- 今回のサーベイの問題で悩ましい問題がありましたので、その解説が聞けて良かったです。mCIM法の判定の際は、ディスクの距離を近づけることも、行っていきたいと思いました。
- 貴重なお話ありがとうございました

④教育講演

『千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク協議会 千...テム- SeCIHI-とは』はどうでしたか【必須】
21 件の回答



⑤ ④で回答した理由を詳しく教えてください

- SeCIHIというシステムはこの講演ではじめて知った。このシステムだと、千葉県内の病院でどの耐性菌が出て何系の薬剤が使われているのか分かりやすく便利だと思った。
- データ収集に参加していますが、データのフィードバックや利用についてよく分かっていなかったなので、お話が聞けてよかったです。
- 内容はやや難しかったですが、SeCIHIは技術面や安全面にとっても優れていることがわかりました。
- データを活用したAST、ICT活動がどのような結果をもたらしたか、大変興味深い講演だった
- データの集積で、課題をどのように解決していくか理解できた。
- 取り組みはよく分かったが、利用するには正直難しいすぎると思った
- 全国や県内の耐性菌の状況や病床数別にみた割合など非常に勉強になりました。
- 病床を持たないクリニックなどでは耐性菌が少ないなど、地域や病院の種類によって、こんなにもデータが違うものかと、とても勉強になりました。
- 全く知らない分野だったので、今後の参考になれば良いかなと思った
- 自分の地域の抗菌薬使用量や菌の検出状況がわかり、仕事に役立つから。
- 地域別や、病床数での耐性菌検出率と抗菌薬使用情報がとても分かりやすかったです。自施設は加算2の病院なので、耐性菌検出による病棟、医師への情報の発信を積極的に行っていきたいと思いました。
- 貴重なお話ありがとうございました

⑥ 来年度に向けて、微生物検査研究班へのご意見やご要望がありましたら、お気軽にお知らせください

- CLSIのM100の文書の解説をしたらよいのではと思いました。不勉強のため、全文を読み込んだことはありません…。MICの判定基準以外にも色々なことが書かれているので、内容を詳しく紹介してもらえるとよいと思います。
- 今回の会場のマイク、音響の影響か、少し声が聞き取りにくかった
- 研修会にZOOMで参加できるのは助かるが、画像の停止や音声の不調が多いので、改善を望む。
- 同定方法について、各施設の事情が知りたい。質量分析の利用頻度や利用の仕方など
- オンデマンドなどで常に勉強できる環境などを整備した方がよいと思います。
- 新人が参加しやすい研修会をお願いします。
- 耐性菌検出の方法の現地研修があれば、若手の技師の勉強になるかと思います。

今年度の微生物検査研究班研修会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度はハイブリッド開催として実施いたしましたが、音声トラブル等が一部で認められたことから、来年度は現地開催のみへ変更する予定としております。

一方で、多くの方に知っていただきたい内容につきましては、オンデマンドで参加可能な体制を整えられるよう、現在、執行部と協議を進めております。

来年度も、微生物検査研究班の活動にご参加いただければ幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

微生物検査研究班
班長 加地 大樹